

広川町の学校教育



タウン・コミュニティ・スクール説明会

広川町では地方創生を指し、さまざまな事業を進めています。学校教育の分野では、

- ・地元「ひと、もの、こと」を生かした豊かな学びの創出
- ・子どもたちの地元愛を育む
- ・将来を担う子どもたちの教育の充実

そこで総合教育会議（町長と教育委員会で構成され

る）では、教育施策について協議し、約3年前から「**広川タウン・コミュニティ・スクール**」を進めてきました。

「広川タウン・コミュニティ・スクール」とは、学校を中心に町・教育委員会・地域・家庭が「連携・協働」し、「教育のまち」づくりを行うもの。子ども一人ひとりの個性を伸ばすため、きめ細かな教育環境を整えてきました。

●教育週間

「広川タウン・コミュニティ・スクール」を地域の皆さんに知っていただくため、11月の2週間、授業や教育活動を公開しました。参観者は年々増加しており、今年の参観人数は各学校が掲げた目標値の1.5倍以上。地域の皆さんの関心の高さがうかがえ、着実

にその成果が現れ始めていることを実感しています。

●研究発表会

教育週間を中心に、町内すべての学校が研究発表会を行いました。中広川小学校では、町が指定した研究「ユニバーサルデザイン視点に基づく授業」について発表。地域住民や保護者など計273人が見守る中、新しい時代の授業のあり方について問題提起しました。

これからも地域の皆さまとともに、「ふるさと広川に誇りを持ち、変化の激しい社会を生きぬく力を身につけ、世代を超えてつながり、力を合わせ、未来を切り拓いていこうとする子ども」の育成に取り組んでいきます。

― 学校と地域、保護者が連携・協働 ― タウン・コミュニティ・スクールと 子供の安全を守る協議会

問 教育委員会事務局

学校教育係

☎ 0943・32・0093
(内線262、263)



パソコン部による睡眠アンケート発表（広川中）



研究発表会（中広川小）



授業公開（上広川小）



地域の皆さんと芋ほり体験（下広小）

広川町子供の安全を守る協議会

町民交流センター「いこっと」で2月5日(火)、今年度2回目の「広川町子供の安全を守る協議会」を開催。

町内の小中学校や保護者（PTA）、各種関係団体の代表が一堂に会し、子どもたちが安全に安心して過ごすことができるように協議しました。

各学校が児童生徒の実態や、子どもの安全を守るためにPTAが取り組んだ内容を報告しました。

中広川小学校

あいさつに関する目標を立て、それに沿って活動した結果、あいさつができる児童が増えた。多くの児童は楽しく学校生活を送っている。一方、登校をしぶったり、保健室登校だったり、言葉遣いや規則を守ることに問題があったりする児童も数人いる。



● PTAの取り組み

地区委員を中心に、通学路の安全を確保している。地区懇談会では、夏休みの生徒指導に関する情報を交換した。

上広川小学校

相手の話を最後まで静かに聞くことができる児童が増えた。一方、よく考えずに行動し、友達に不快な思いをさせる児童、場に応じた言葉遣いや行動ができない児童が数人いる。スマホを持っている児童が2割、親のスマホを使える状況の児童が2割いることに驚いている。



● PTAの取り組み

毎月1日・19日の朝、地区ごとに交通指導、元気なあいさつ指導を行った。地区懇談会では、危険場所、安全ハウスの対応について協議した。

下広川小学校

心の教育推進部が月の生活目標を全校朝会で話し、各教室や掲示板に掲示した結果、めあてを意識して行動する子どもが増えた。一方、あいさつを重点的に指導してきたが、進んであいさつができる児童はまだ少ない。



● PTAの取り組み

緊急時に児童だけで下校する場合を想定し、児童を学校内に留め置き、保護者に引き渡すという一連の流れを訓練した。子ども見守り隊で児童の登下校を見守り、地区懇談会では児童の安心・安全を見直した。

広川中学校

多くの児童は落ち着いた学校生活を送っているが、思いやりに欠けた一部の生徒が、日常的に乱暴な言葉を使っている。携帯電話などでLINEができる状況にある生徒の割合が約70%にもものぼり、トラブルも起きている。



● PTAの取り組み

役員会や学年委員会であいさつ運動、学年懇談会、リサイクルバザー、スマホアピールなどを行った。生活指導委員会では交通安全指導を行った。

各委員

- ・暴走行為、万引きが激減している。
- ・地域住民として手伝えることがあれば、何でも要望してほしい。
- ・ネット犯罪を減らすには、親が犯罪について知る必要があることを知ってほしい。
- ・地域で虐待ではないかと思われるようなことがあれば、連絡してほしい。
- ・各団体の顔が見えるこのような会議は安心感がある。今後も継続することで、子どもたちの安全に繋がると思う。

八女警察署 生活安全課

管内の少年を取り巻く事件・事故は数年前から減少しているが、お年寄りをねらった詐欺事件などは増加している。子どもたちがおじいちゃん、おばあちゃんに手紙を書くなど、家族で詐欺被害を減らしてほしい。地域の安全を脅かす事案を減らすには、地域の連携が大切。コミュニティの力を発揮してほしい。広川町の少年補導はほとんどなく、年々減少傾向にある。大変落ち着いた環境であることをうれしく思う。

